

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 移動交通手段の充実

事業名 **バス停上屋移設事業 (生活交付金)**

[0934]

部名	企画政策部	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	企画課	事業終了年度	平成21年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市民
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) この事業により 路線バス利用者の利便性の向上を図る。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 市立病院のバス停留所に上屋を移設する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民				122,568	
対象指標2						
活動指標1	事業費				1,029	
活動指標2						
成果指標1	バス路線利用者数	千人			4,532	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,029	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	1,029	0

費用内訳	
21年度	工事請負費 1,029千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

路線バス利用者の利便性向上と利用者増による生活バス路線の維持、確保は、地域活性化、生活対策として妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

上位基本事業へ直接寄与する施策である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

この事業により、路線バス利用者の利便性の向上が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

単年度事業のため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

国の生活交付金を活用した事業であり、競争入札により事業費の低減を図った。